

# 苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 10 回 定例委員会
日時	平成28年8月26日 自 15時00分 至 16時05分
場所	市役所第2庁舎2階南会議室
出席委員	教育長 和野 幸夫 委員 上原 毅 委員 佐藤 郁子 委員 佐藤 守 委員 植木 忠夫
欠席委員	
会議録署名委員	上原 毅 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 前田 亜矢子
事務局職員	教 育 部 長 松 浦 務 教 育 部 次 長 瀬 能 仁 教 育 部 参 事 丹 野 靖 彦 施 設 課 長 山 地 吉 明 学 校 教 育 課 長 齋 藤 貴 志 総 務 企 画 課 長 補 佐 千 葉 暢 総 務 企 画 課 主 査 下 濱 辰 哉 学 校 教 育 課 学 務 係 長 澤 田 由 美 子 総 務 企 画 課 主 事 前 田 亜 矢 子
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（和野教育長）・・・15時00分
2	会議録署名委員の指名（上原毅委員）
3	会議録の承認
	（和野教育長） 第8回定例教育委員会（平成28年7月22日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
	（一同「はい」の声）
	-会議録どおり承認-
4	教育長の報告
	（和野教育長） 初めに、本日は錦岡小学校、午後から樽前小学校を訪問いただきありがとうございます。お気付きの点がありましたら、いつでも結構ですのでご指摘をいただきたいと思います。
	7月22日開催の第8回定例教育委員会以降の事業などについて報告をさせていただきます。
	7月23日に、出光興産主催の「Music in Museum by 出光 昼下がりのハーモニー」が、美術博物館特別記念展「Art and Air 空と飛行機をめぐる、芸術と科学の物語」の連携事業として開催されております。弦楽アンサンブルに尺八を中心とした和楽器オーケストラ「あいおい」とのコラボレーション演奏会で、1,000人を超える市民の皆さんに新しい響きを楽しんでいただいた

<p>ものと思います。</p>
<p>7月25日に、学校職員の永年勤務者表彰伝達式を行いました。昭和61年採用の30名の教職員に北海道教育長の表彰状をお渡ししております。受賞の皆さんが採用された昭和61年の前年に起きた「日航ジャンボ機御巣鷹山墜落事故」などの出来事や時代風潮を振り返り、教員生活の最後には教員が教員に後を託す営みがあり、先輩にお世話になったように後輩の指導にあたってほしいとお話をいたしました。</p>
<p>7月26日、27日には平成28年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会が紋別市で開催され、全委員にご参加いただきありがとうございました。また、佐藤守委員には移動車両の運転をお引き受けいただきありがとうございます。道内の都市教育委員会でも人口規模により議論がかみ合わないと感じることも多いのですが、さまざまな市の取組を直接聞く大切な機会であります。今後とも、委員の皆様にはご参加いただきますようお願いいたします。</p>
<p>7月30日、31日に出光カルチャーパークにて苫小牧アートフェスティバルが開催されました。例年どおりのぐずついた天気であり、これで4年続きの雨模様での開催になりました。サンガーデンで開催された雨天時の開会式は、スタッフ一同手馴れた動きでしたが、市長の挨拶で雨天の責任は教育長にあるとの指摘を受けましたので、来年は何としても天気にしたいと考えているところであります。事業の内容では、いろいろと工夫をこらしたワークショップや市内アーティストのステージなどが開催され、なかでも開会式に行われたプロジェクションマッピングは、藤沢レオさんと千歳科学技術大学の協力による作品で、「まっ白ヒグマ」の表情や画像の動きもとても面白く、開会式のみでの発表で終わらせるのはもったいないと感じたところであります。</p>
<p>8月4日には、第43回北海道情緒障害教育研究会が文化交流センター、教育センターで開催されました。全道各地から276名の教諭と養護教諭が参加し、5つの分科会で実践発表などが行われました。今後の特別支援教育の充実に生かしていただきたいと思います。また、「発達障害のむこうから」と題して、「こころとそだちのクリニック むすびめ」院長である田中康雄先生の講演があり、発達障害を持つ個々の</p>

子供に関しては、医者の時々の見立てより日頃かかわっている教員の見立ての方が正しく、情緒障害には日頃の周りの取組が大切であるなどと、軽妙な語り口から日頃の実践に基づいた講演をいただきました。

次に、前後しますが、8月2日から7日まで第11回全国高等学校選抜アイスホッケー大会が開催されました。昨年より1チーム多い29チームが参加しております。

釧路市の武修館高校が優勝し、苫小牧勢では駒澤大学附属苫小牧高校が昨年と同じく3位になっております。この大会は、期限付きの国の補助事業で実施してきたところですが、11回目の今年から国の補助金のスキームが変わり、補助額も圧縮されております。そのため事業内容を見直して実施したところですが、何とか例年どおりの成果のある開催ができたものと思います。

8月5日から7日には、第61回港まつりが開催されました。上原委員、佐藤郁子委員、佐藤守委員には、大変暑い中市民踊りの審査員をお願いし、上原委員、佐藤守委員には、翌日のポートカーニバルにもご臨席をいただき、大変ありがとうございました。

また、8月15日の平和祈念式典には植木委員にご臨席いただき、ありがとうございました。

次に、外国語指導助手(A L T)のリース・オックスビーが退任し、タン・ウイブン(通称フローレンス)が新たに着任しております。シンガポール国籍の31歳の好青年であります。別の機会にご紹介をしたいと考えております。

私からの報告は以上でございます。

ただ今の報告につきまして、何か質問はございますか。

(一同「なし」の声)

5 議 案
第1号 平成28年度教育費補正予算について
(教育部次長) -平成28年度教育費補正予算について説明-
(和野教育長) 質疑に付します。何か質問はございますか。
(一同「なし」の声)
-原案どおり決定-
議案第2号 損害賠償額の決定にかかる専決処分について
(教育部長) -損害賠償額の決定にかかる専決処分について説明-
(和野教育長) 質疑に付します。質問はございますか。
(佐藤守委員) これはどこでもあり得る事故だと思うので、今後は何か安全対策を考えているのかどうかお聞きしたいです。
(教育部長) 古くは、平成20年に教育委員会で、確か緑小学校だと思いましたが、車両5台を損傷する事故がございまして、その後、私どもで草刈りだけではなく学校公務補に関する安全作業マニュアルを作らせていただきました。今回に関しては、公務補も歩行者や道路の方に飛ばないように防護ネットを使用していたのですが、たまたま横を通り抜けて学校敷地内に入ってきた新聞配達の人に、石が壁に跳ねてぶつかるという事故でございました。
ただ、マニュアルにあるように、草の少ない場所については機械を使わずに手で作業をすとか、車両が進入しないように対策をすといったことができておりません

で、今週の月曜日と来週の月曜日に全ての公務補を呼んで、もう一度マニュアルについて研修をしているところでございます。

また、この事故を受けまして、公務補全員にこういった事故があったのでそれぞれ気を付けるようにということで文書通知したほか、私からも各学校長へ文書で草刈りの安全対策について学校管理者としても対応をお願いしたい旨通知したところです。

(佐藤守委員) ありがとうございます。

(和野教育長) 他にございますか。質疑がないようであれば、原案どおり決定することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

-原案どおり決定-

### 議案第3号 苫小牧市小・中学校施設整備計画について

(施設課長) -苫小牧市小・中学校施設整備計画について説明-

(和野教育長) 質疑に付します。何か質問はございますか。

(上原委員) 1ページ目の1の(2)に「本計画の基本的な考え方」というのがありますが、その1番最後に「なお、計画の策定・修正に当たっては、各種関連計画との整合性を図る」ということが書いてありますが、この「各種関連計画」について教えてください。

(施設課長) 教育部内で持っている各種計画、規模適正化地域プランも含めてなのですが、そういった計画ですとか、上位計画になりますと市の総合計画や都市計画もございます。そういったものとの整合性を図りながら、施設整備計画を進めていきたいと考えております。

<p>(上原委員) 併せてなのですが、いろいろな計画との整合性を図りながら進めていくというのはわかりました。それで、中期・後期の総事業費が書いてありますが、中期・後期合わせて182億円とのことで概算の事業費が載っていますが、当然この事業費も、関連する計画との整合性ですとか、あるいは経済情勢等も含めて、変わる可能性があるというふうに捉えていいでしょうか。</p>
<p>(施設課長) 当然、他の計画との整合性を図っていく中で、今後変わる可能性はございます。</p>
<p>(上原委員) その場合、この計画を我々が良いということで承認したとすると、その都度、その計画が変更になった時点で、教育委員会には報告があるということでしょうか。</p>
<p>(施設課長) お示ししている事業費は、全て中期・後期という形での期ごとのものになっておりますので、今後、後期の見直しの段階で再度お示しすることになると思います。</p>
<p>(上原委員) わかりました。</p>
<p>(和野教育長) 他にございますか。なければ、原案どおり決定することとしてよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>-原案どおり決定-</p>
<p>議案第4号 平成29年度使用の教科用図書の採択について</p>
<p>(学校教育課長) -平成29年度使用の教科用図書の採択について説明-</p>
<p>(和野教育長) 質疑に付します。何かございますか。</p>

(一同「なし」の声)
(和野教育長) それでは、質疑がないようですので、原案どおり決定することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
-原案どおり決定-
議案第5号 特別支援学級の通学区域の変更について
(学校教育課長) -特別支援学級の通学区域の変更について説明-
(和野教育長) 質疑に付します。何かございますか。
(佐藤守委員) 沼ノ端中学校に特別支援学級を開設するというので、今までないことがおかしかったのですが、元々教室が足りないということで開設できなかったという理由を聞いています。その不足分をどのような形で充足させて教室をつくるのでしょうか。
(学校教育課長) 確かに、過去の経緯から、プレハブで授業を行っているような状況もあり、非常に厳しい状態ではあったのですが、昨年度から学校に細かく聞き取りをしまして、生徒数の推移等を見まして、取りあえず1学級1クラス分だけは教室を確保できるということで学校との調整が付きまして、増築等することなく現状のまま開設できることとなりました。
(佐藤守委員) わかりました。ありがとうございます。
(和野教育長) 他にございますか。なければ、原案どおり決定することとしてよろ

しいでしょうか。

(一同「はい」の声)

-原案どおり決定-

議案第6号 苫小牧市立小・中学校における障害を理由とする差別の解消の推進  
に関する対応要領について

(教育部参事) -苫小牧市立小・中学校における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領について説明-

(和野教育長) 質疑に付します。何かございますか。

(佐藤守委員) この対応要領ですが、地方公共団体では努力義務だったと思うのですが、苫小牧市として積極的にやるということで策定した理由をお聞きしたいと思えます。また、対応要領の中には懲戒処分という定義が1項目入っていて、文部科学省の例にも入っていたと思うのですが、苫小牧市のものには入っていないようなので、その理由をお聞きしたいと思えます。

(教育部参事) 確かに、障害者差別解消法第10条第1項の規定は努力義務でございますが、法の主旨がより具体的に学校現場で実現すること、つまり、障害を理由として全ての子供たちが差別されることのないような状況を実現するという意味で要領を作成することと、それに具体的な指針・別紙等を示すことでより実効性を伴うようにということで、本要領を作成したところでございます。

(学校教育課長) 懲戒処分の関係についてですが、私も他市の例を細かく見てはおりませんが、懲戒処分権を持つ県や道の要領には懲戒処分が入っているかも知れませんが、我々は教職員に関しましては懲戒処分権がございませんので、その項目は抜

いたものでございます。
(佐藤守委員) わかりました。
(和野教育長) 他にございますか。
(佐藤郁子委員) 要項の第6「相談体制の整備」のところなのですが、恐らく医療関係等をお考えだと思っておりますが、「当該小・中学校及び関係機関と調整しながら」というところの「関係機関」なのですが、具体的にどのようなものをお考えか教えてください。
(教育部参事) 関係機関につきましては、1つめは医療機関です。当然、障害の程度・状況について、医学的な配慮の状況について把握するということです。それから、障害等にかかわる専門的な知見を持つ機関として、児童相談所や保健所等を想定しているところでございます。
(佐藤郁子委員) ありがとうございます。
(和野教育長) 他にございますか。質疑がなければ、原案どおり決定することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
-原案どおり決定-
議案第7号 苫小牧市学校評議員の変更について
議案第8号 教育委員会職員の処分について (諮問・答申)
(和野教育長) 議案第7号及び第8号につきましては人事案件でございますので、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、当該議案の審議を日程の最後に行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(和野教育長) それでは、議案第7号及び第8号を秘密会とし、日程の最後に審議を行うことに決定いたします。

## 6 協 議

(和野教育長) 協議事項をお持ちの方はいらっしゃいますか。

(一同「なし」の声)

## 7 その他

### (1) 平成28年度 教育委員会点検評価・報告書について

(教育部次長) -平成28年度 教育委員会点検評価・報告書について説明-

(和野教育長) 質疑に付します。何か質問はございますか。

(植木委員) 53ページの「2意見及び助言」の中の(1)で、「入学式及び卒業式について、今後も慎重に訪問校を選定してほしい」という意見があるのですが、これは、今でも慎重に訪問校を選定しているはずですよ。学識経験者の皆様のどのような意図がこの「慎重に」という言葉にあるのか、もしわかればお聞きしたいと思います。

もう1点、54ページに「選挙権年齢の引き下げや学習能力の低下」とありますが、

この「学習能力の低下」という言葉が少し引っかかります。昔も今も、子供たちの学習能力にそんな低下があるはずがなく、これは方法によって、学力の問題と、一般論の中では学力の低下ということはあると思うのですが、学習能力が低下しているというのはどのような根拠で言われているのか、この辺りも市議会の文教経済委員会に掛けるのであれば、ここはやはりどのような意図で4名の方が言われているのか、もしわかればお聞きしたいと思います。

(教育部長) 大変申し訳ございません。頂いたご意見をそのまま載せたということで、どなたがどのような意図をもって書かれたかというところまでは聞き取りができておりません。まだ時間がございますので、市議会提出前までに確認させていただきたい、もし訂正することがあれば、その旨委員の皆様にも報告させていただきたいと思えます。

(和野教育長) このページは、学識経験者がどのような意見を言ったかということですから、ここを訂正することはできないと思えます。ただ、大事なことは、これに対して今度どうするか、どういう意図だからどうしたいということ、直近であれば、今回の文教経済委員会にそういうお話を、もしくは、次の教育委員会には、こういう対応をしたいということ、を述べていただければ良いと思えます。

(教育部長) はい、わかりました。

(佐藤守委員) それと同じような形で、54ページの一番上ですが「パソコン配備や耐震補強工事等、学校により不公平がないようお願いします。」とあります。不公平に見えるようになっているということもおかしいと思えますので、ここもちょっと確認をお願いしたいと思います。

(教育部長) たぶん、こちらは、耐震改修が終わっていない学校が幾つかございますので、補強工事は終わったのですが改築の方がまだ手が付けられていない学校がございますので、そういったところを見られてのことではないかと思えますが、合わせて確認させていただきます。

(佐藤守委員) わかりました。

